

DAWN 通信

第29号

2018.7

自己有用感を育むこと

この数年でも急激に情報インフラの発展が見られます。このような環境に生きる子ども達と接していると、様々な関係づくりが不得手になってきたように感じられることがあります。自己を表現すること、他者と交わること、それができるためには自分自身の存在を価値あるものであるという認識「自己有用感」を持てる必要があります。体験活動の補完の為に活用している組織キャンプのプログラムでは、「人と人」「人と自然」「人と社会」の関係性の中で生き活かされることの体験をしています。一人ひとりが大切にされることにより自己を豊かに表現していけるようになり、自分自身の新たな可能性を発見することにもつながっています。

男女共同参画を推進していくために、社会活動では男女雇用機会均等法、政策提言の場では候補者男女均等法など、法律や制度の整備は進んできていますが、人々の意識変革は進んできているのでしょうか。SDGs など国際的な取り組みにも連動し行政制度や企業組織での取組みは広がってきていますが、多様性を受け入れることに対して、一般市民は、次代を担う子ども若者の意識は、変わってきたのでしょうか。一人ひとりの思いや意欲を活かすためには固定的な性別役割分担意識の前に、個が尊重されるようになっていくことが大切です。

SNS による情報の拡散など変革の力学は高まっているように感じられますが、一方で、みんなと同じでなければ不安であるという意識構造もまだまだ強いのが現実です。情報を発信しプロデュースする側の意識は変わってきたのか、受け取る側は自己の判断力を大切にできる力を養ってきたのか、気軽に思いを発信できることが、かえって固定的な性的役割分担意識に自らを縛っていることもあるのかもしれません。メディアリテラシー教育の大切さが新たに浮きあがってきます。

それぞれの持つ能力が活かされるための環境づくりには、幼いころから家庭や地域で、そして学校教育の場面で、自己有用感を高めエンパワーされていくことが大切であると思います。このようなボトムアップの手法が情報社会の持つ新しい機動力と連動し、男女共同参画をさらに推進していくことを期待します。

大阪キャンプ協会 常務理事
焼野 嘉津人

★ 平成30(2018)年度の事業展開

- 財団トピックス
- イコラム情報
- 運営体制／平成29年度事業受託・講師派遣等実績／賛助会収支決算



ドーン財団とは、ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを含め、設立 20 周年を記念して平成 26 (2014) 年度に決めました。ドーンセンターは、平成 6 (1994) 年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語 DAWN と、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

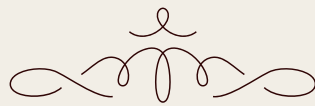
ただいま、情報発信中！

財団ホームページ

<http://www.dawn-ogef.jp/>

Twitter

https://twitter.com/O_G_E_F



平成30(2018)年度このような事業を展開します!

(平成 30年7月末現在)

財団オリジナル事業

- * 女子高校生のためのサマースクール
ガールアップセミナー
(駐大阪・神戸米国総領事館 助成事業)
- * 男女共同参画に関する
講座・研修コーディネート事業
 - ・DV相談担当職員研修
 - ・女性相談員養成事業
 - ・男女共同参画施策に関わる職員のための研修
 - ・女性活躍推進リーダー養成講座 他
- * ダイバーシティ推進のためのサポートデスク
 - ・講師派遣、弁護士相談、研修参加
- * 講師派遣事業
 - ・講師派遣、大学の講義受託、委員等応嘱
- * 販売事業
 - ・オリジナルDVD、ハンドブック等の販売 他
- * 広報事業
 - ・賛助会制度運営 他

公益目的事業

- * 女性弁護士による女性のための法律相談
- * 相談にかかる人材育成事業
 - ・フェミニストカウンセリング専門講座
 - ・スーパービジョン講座
- * 男女共同参画に関する啓発講座

はなみずき女性支援センター事業

暴力被害等によって困難な状況にある女性をサポートし、社会復帰を支援していくための事業をドーン財団への寄附、賛助会費で実施。

- ・シングルマザーのための
「はなみずきセミナー」
- ・シングルマザーの 応援フェスタ 2018

指 定 管 理

- * ドーン財団を代表として4団体で構成する「ドーン運営共同体(※)」による事業
(※) ドーン財団、(一財)大阪府青少年活動財団、NPO法人大阪現代舞台芸術協会、(株)菱サ・ビルウェア
- * ドーンセンター(大阪府男女共同参画・青少年センター)指定管理業務
平成28(2016)年度～平成32(2020)年度

国受託事業

- * 内閣府「東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」
 - ・福島県における相談事業(電話相談・面接)
 - ・岩手・宮城・福島県の相談機能向上研修、アドバイザー派遣事業

大阪府受託事業

- * 男女共同参画推進のための相談事業
 - ・女性相談(電話・面接・法律・DVSG、7ブロック会議・総括会、スキルアップセミナー、カウンセラー派遣)
 - ・男性相談(電話)
- * 大阪府における男女共同参画施策に関わる市町村職員のための研修プログラム
- * 「女性のお悩み相談会」への相談員派遣事業
- * 不妊専門相談センター事業
 - ・不妊・不育にまつわる電話相談
 - ・医療の情報提供セミナー
 - ・不妊・不育にまつわる面接相談
 - ・公開講座
 - ・不妊サポート・グループ
 - ・専用ホームページ管理運営 他

東大阪市受託事業

- * イコーラム(東大阪市立男女共同参画センター)の管理運営
- * イコーラム事業
 - ・男女共同参画推進に関する啓発事業
 - ・一時保育事業
 - ・相談事業(女性相談・男性相談)
 - ・情報の収集および提供
 - ・登録団体支援 他
- * 財団自主事業
 - ・男女共同参画基礎講座
 - ・市民協働事業

自治体等受託事業

- * 三重県伊賀市「男女共同参画講座事業」
- * 石川県「DV相談員等育成研修」
- * 京都府舞鶴市「女性電話相談員養成講座」
- * 和歌山県田辺市「男女共同参画関連講座」
- * 大阪樟蔭女子大学「学芸学部」の学び
- * 大阪女学院大学・短期大学「人権教育講座」
- * 公益財団法人大阪府市町村振興協会「マッセ・市民セミナー」

シングルマザーの応援フェスタ 2018

「OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2018」の一環で、『シングルマザーの応援フェスタ 2018』を開催します。

いつもがんばっているシングルマザー・プレシングルマザーに、自己尊重感を上げリラックスできるよう、さまざまなプログラムを届けます。元気アップコーナーでは、協力団体等の寄附により、通勤・面接に活用できるスーツやジャケット等（寄贈品）のプレゼントがあります。また、アロマのハンドマッサージなども。ゆっくり、ほっこり、癒される1日になる「応援フェスタ」を行います。

◆ 協力 ◆

明石市役所女性職員有志
尼崎市役所職員有志
大阪樟蔭女子大学
社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会
大阪ロータリークラブ社会奉仕委員会
グンゼ株式会社女性社員有志
株式会社サンケイリビング新聞社
NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西
全日空白鸛会大阪有志
住友精密工業株式会社女性社員有志
ベガサスミシン製造株式会社女性社員有志



女子高校生のためのサマースクール ガールアップセミナー

駐大阪・神戸米国総領事館助成事業

次世代育成事業として、女子高校生がジェンダーの呪縛から解放され、自信を持って自分らしくリーダーシップを発揮し、自分の人生を選び取って生きていくことを応援するセミナーを開催します。

初回には、かれん・ケリー駐大阪・神戸米国総領事からの応援メッセージがあります。



女子高校生のためのサマースクール
#GIRL UP
ガールアップセミナー
SEMINAR



イコーラム情報

ドーン財団は平成 23（2011）年度から東大阪市より事業を受託し
東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営を担っています。



パステルアートで心を癒す

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは平成 29（2017）年度、DV やいじめなどの暴力の被害者、仕事や学校に行きにくい方、子育てをしんどいと感じている方などの心を癒す場を企画しました。指で自由に描くパステルアート、ゆびまるこ®の3回講座です。

ゆびまるこ®は、こどもからおとなまで誰でも取り組めるレジリエンスを育てるアートプログラム。ゆったりとした時間の中で、緊張していた感情が解放される。ほっとひと息、頑張ってきた心をゆるめて自分に戻る時間。アトリエ SORA を主宰する高雄良子さんと、指で気持ちのままに、くるくる描く。1回だけでもいい、自分のペースで来て、自分のペースで描く。

相談機関やSC(スクールカウンセラー)、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)など支援者を通して参加者を募り、延べ27人、親子での参加もありました。継続してほしいとの声もあり、平成30(2018)年度も引き続き実施し、生きづらさを抱える人に届けていきたいと考えています。



運営体制

●役員

評 議 員	上田 理恵子	株式会社マザーネット代表取締役社長
	熊 和子	元毎日放送ラジオ局長
	高瀬 久美子	弁護士
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	時岡 慎一郎	学校法人大阪女学院監事
	早瀬 昇	認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事
		社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
		弁護士
理 事 長	段林 和江	グンゼ株式会社取締役
	白井 文	大阪府立大学人間社会学研究科教授
業務執行理事	伊田 久美子	女性学研究センター主任
		一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団事務局長
	金光 哲司	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団本部長
	仁科 あゆ美	毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員
	畑 律江	大阪府キャンパス協会常務理事
	焼野 嘉津人	弁護士
監 査	中島 ふみ	公認会計士
	林 紀美代	

●アドバイザー

川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
	龍谷大学社会学部現代福祉学科講師
黒瀬 友佳子	帝人株式会社CSR・信頼性保証部
	企業倫理・コンプライアンスグループ部長
弘本 由香里	大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所特任研究員
ローラ・デールズ	西オーストラリア州立大学准教授

*委嘱期間：平成30年(2018)年4月～平成31(2019)年3月
(50音順、肩書は平成30年(2018)4月現在)

財団理念

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団(愛称:ドーン財団)は「男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

事業報告

ドーン財団の平成29年度事業受託・講師派遣等の実績は次のとおりでした。

(平成30年<2018>年3月31日現在)

■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業／若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業／性犯罪被害者等支援体制整備促進事業■大阪府(府民文化部)／大阪府男女共同参画推進のための相談事業等業務(～31年度)／大阪府における男女共同参画施策に関わる市町村職員のための研修企画・運営業務／ドメスティック・バイオレンス(DV)被害者対応マニュアル改訂等業務／働く女性のための『お悩み』相談会における女性相談■大阪府(健康医療部)／不妊専門相談センター事業■石川県／DV相談員等育成研修■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター(イコラーム)指定管理事業(～30年度)■大阪府泉大津市／男女共同参画啓発講座■三重県伊賀市／男女共同参画講座事業■大阪女学院大学・短期大学／人権教育講座■近畿大学総合社会学部／キャリアサポートセミナー

【講師派遣等】

滋賀県立男女共同参画センター／和泉市総務部人権・男女参画室／四條畷市市民生活部人権政策課／寝屋川市男女共同参画推進センター／岸和田市市民環境部人権・男女共同参画課／東大阪市教育委員会／吹田市男女共同参画センターデュオ／寝屋川市人・ふれあい部人権文化課／四條畷市総務部人事課／寝屋川市総務部人事室／岸和田市保健部健康推進課／公立大学法人大阪府立大学／関西外国語大学／龍谷大学社会学部／大阪府立豊島高等学校／大阪府立桃谷高等学校／大阪府立枚方高等学校／大阪成蹊女子高等学校／大阪府立春日丘高等学校／大阪府立久米田高等学校／交野市立第二中学校／岸和田市立春木中学校／岸和田市立北中学校／関西大学北陽中学校／大阪公立高等学校教職員組合 等

【委員応嘱等】

(公財)大阪府市町村振興協会(おおさか市町村職員研修研究センター)運営審議会委員／門真市男女共同参画審議会委員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員 他

【研究協力】

「ひとり親家族を生活主体とする支援のあり方に関する日韓共同研究」研究協力者

【他機関とのネットワーク形成等】

- ・NPO法人全国女性会館協議会 団体会員
- ・大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員
- ・一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 会員
- ・公益社団法人日本図書館協会 会員
- ・専門図書館関西地区協議会 会員
- ・大阪府外郭団体代表者懇話会 会員
- ・大阪府男女共同参画推進ネットワーク 会員
- ・OSAKA女性活躍推進会議 構成団体
- ・関西SDGsプラットフォーム 構成団体

賛助会収支決算

昨年度の賛助会費は次のように使わせていただきました。

平成29年度 賛助会費収支計算書 H30.3.31

賛助会費		口数	収入額		
個人会員	1口3,000円 81人	120	360,000		
企業会員	1口10,000円 4企業	16	160,000		
非営利団体会員	1口5,000円 13団体	13	65,000		
合 計		149	585,000		
充当事業		回数	事業収入	支出額 (人件費除く)	賛助会費 個別充当額
はなみずき女性支援センター事業 他			0	585,000	
総 合 計			585,000	585,000	0
次年度繰越金額					0

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。
<http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html>

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。

[ドーン財団]で検索。

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索



編集・発行 ドーン財団(一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15
大手前センタービル12F
TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
<http://www.dawn-ogef.jp>

発行日:平成30(2018)年7月31日